

● 世界の主な地震

令和 8 年（2026 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

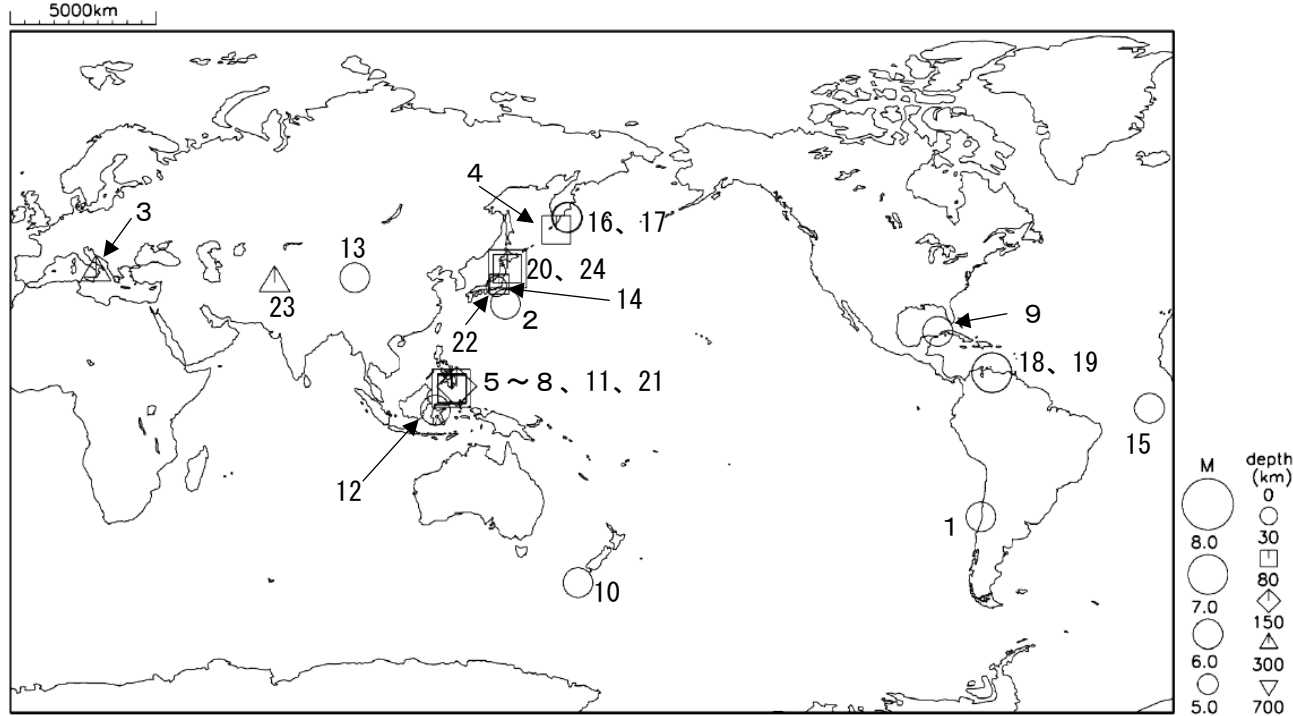


図 1 令和 8 年（2026 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 8 年（2026 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

| 番号 | 地震発生時刻       | 緯度         | 経度          | 深さ (km) | mb | Mj  | Mw               | 震央地名            | 備考 (被害状況など)                                       | 北西 | 遠地 |
|----|--------------|------------|-------------|---------|----|-----|------------------|-----------------|---------------------------------------------------|----|----|
| 1  | 06月01日06時34分 | S32° 49.7′ | W 71° 53.3′ | 25      |    |     | 6.0              | チリ中部沿岸          |                                                   |    |    |
| 2  | 06月01日12時34分 | N30° 43.1′ | E141° 57.9′ | 65      |    | 6.0 | (5.7)            | 島島近海            |                                                   |    |    |
| 3  | 06月02日07時12分 | N39° 15.2′ | E 15° 47.2′ | 243     |    |     | 6.2              | イタリア南部          |                                                   |    |    |
| 4  | 06月07日19時41分 | N49° 53.9′ | E157° 22.7′ | 35      |    |     | 6.1              | 千島列島東方          |                                                   |    |    |
| 5  | 06月08日08時37分 | N 5° 37.0′ | E125° 2.8′  | 55      |    |     | (7.7)            | フィリピン諸島、ミンダナオ   | 死者81人など（2026年7月1日現在）<br>津波観測1.48m（ミンダナオ島キアンバ）など   | ○  | ○  |
| 6  | 06月08日08時48分 | N 5° 30.7′ | E125° 22.2′ | 48      |    |     | 6.1              | フィリピン諸島、ミンダナオ   |                                                   |    |    |
| 7  | 06月08日08時49分 | N 5° 38.9′ | E125° 14.6′ | 42      |    |     | 6.0              | フィリピン諸島、ミンダナオ   |                                                   |    |    |
| 8  | 06月08日09時55分 | N 5° 28.4′ | E125° 13.0′ | 75      |    |     | 6.5              | フィリピン諸島、ミンダナオ   |                                                   |    |    |
| 9  | 06月09日03時00分 | N22° 48.8′ | W 85° 9.2′  | 26      |    |     | 6.1              | キューバ            |                                                   |    |    |
| 10 | 06月10日09時44分 | S49° 44.9′ | E164° 3.8′  | 6       |    |     | 6.0              | オークランド諸島        |                                                   |    |    |
| 11 | 06月15日18時18分 | N 6° 11.5′ | E126° 45.6′ | 112     |    |     | 6.2              | フィリピン諸島、ミンダナオ   |                                                   |    |    |
| 12 | 06月16日12時27分 | S 1° 7.0′  | E120° 11.9′ | 10      |    |     | 6.7              | インドネシア、スラウェシ    |                                                   |    |    |
| 13 | 06月16日18時06分 | N37° 53.3′ | E 95° 24.1′ | 10      |    |     | 6.3              | 中国、チンハイ省        |                                                   |    |    |
| 14 | 06月16日19時46分 | N36° 6.7′  | E139° 52.5′ | 50      |    | 5.5 | (5.4)            | 茨城県南部           | 負傷者2人など（2026年6月24日14時現在）                          |    |    |
| 15 | 06月18日03時56分 | N 0° 30.8′ | W 20° 2.8′  | 10      |    |     | 6.6              | 大西洋中央海嶺中部       |                                                   |    |    |
| 16 | 06月19日15時51分 | N52° 41.4′ | E160° 51.8′ | 28      |    |     | 6.0              | ロシア、カムチャツカ半島東方沖 |                                                   |    |    |
| 17 | 06月19日15時52分 | N52° 47.4′ | E160° 33.9′ | 10      |    |     | 6.6              | ロシア、カムチャツカ半島東方沖 |                                                   | ○  |    |
| 18 | 06月25日07時04分 | N10° 26.1′ | W 68° 31.6′ | 20      |    |     | 7.2              | ベネズエラ沿岸         | 死者3,535人など（2026年7月7日現在）<br>津波観測0.04m（モナ島、ヤブコア湾）など |    | ○  |
| 19 | 06月25日07時05分 | N10° 26.1′ | W 68° 28.2′ | 10      |    |     | 7.5 <sub>g</sub> | ベネズエラ沿岸         |                                                   |    |    |
| 20 | 06月25日07時30分 | N40° 12.6′ | E142° 5.8′  | 44      |    | 7.2 | (6.8)            | 岩手県沖            | 負傷者17人など（2026年7月6日14時現在）                          | ○  |    |
| 21 | 06月26日20時34分 | N 5° 14.3′ | E125° 11.7′ | 42      |    |     | 6.5              | フィリピン諸島、ミンダナオ   |                                                   | ○  |    |
| 22 | 06月26日22時28分 | N35° 31.3′ | E138° 51.3′ | 20      |    | 5.6 | (5.3)            | 山梨県東部・富士五湖      | 負傷者22人（2026年7月6日14時現在）                            |    |    |
| 23 | 06月27日22時34分 | N36° 28.3′ | E 70° 45.8′ | 199     |    |     | 6.1              | アフガニスタン、ヒンドークシ  |                                                   |    |    |
| 24 | 06月28日05時21分 | N40° 12.6′ | E142° 5.8′  | 41      |    | 6.1 | (5.8)            | 岩手県沖            |                                                   |    |    |

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2026 年 7 月 6 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。

・被害状況は、日本の地震については総務省消防庁、海外の地震については、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による。

・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。

・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による（2026 年 7 月 6 日現在）。

## 2026年6月8日 フィリピン諸島、ミンダナオの地震

### (1) 概要 (注1)

2026年6月8日08時37分(日本時間、以下同じ)にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ55kmでMw7.7の地震(Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁はこの地震に伴い、8日09時05分に茨城県から沖縄県にかけての太平洋沿岸、伊豆諸島、小笠原諸島に津波注意報を発表した(8日16時50分に解除)。この地震により、小笠原諸島の父島二見で17cmの津波を観測するなど、関東地方から沖縄県にかけての太平洋沿岸、伊豆諸島及び小笠原諸島で津波を観測した。また、フィリピンのミンダナオ島キアンバで1.48mなどの津波を観測した。

また、この地震により、フィリピンで死者81人、負傷者1300人以上などの被害が生じた(2026年7月1日現在)。

気象庁はこれらの地震に対して、それぞれ8日09時06分及び10時58分並びに12時08分に遠地地震に関する情報(津波警報等(大津波警報・津波警報あるいは津波注意報)を発表中)を発表した。

6月8日のフィリピン諸島、ミンダナオの地震に伴い気象庁が発表した主な情報及び報道発表を表1-1～1-4に示す。

---

(注1) 震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2026年7月6日現在)。ただし、発震機構及びMwは、今回の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。海外の津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2026年7月6日現在)。地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2026年7月1日現在)による。

表 1－1 気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2026年 6 月 8 日）

| 月 日  | 時刻        | 情報発表、報道発表等の状況                | 備考（主な内容等）                                                                                                                         |
|------|-----------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月8日 | 08 時 37 分 | 地震発生                         | フィリピン諸島、ミンダナオ、Mw7.7                                                                                                               |
|      | 09 時 05 分 | 津波注意報                        | 茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、三重県南部、和歌山県、高知県、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島、沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表 |
|      |           | 津波予報（若干の海面変動）                |                                                                                                                                   |
|      |           | 津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報） |                                                                                                                                   |
|      | 09 時 06 分 | 地震情報（遠地地震に関する情報）             | 太平洋で津波発生の可能性あり                                                                                                                    |
|      | 10 時 30 分 | 報道発表                         | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 37 分頃のフィリピン付近の地震について                                                                                          |
|      | 10 時 58 分 | 地震情報（遠地地震に関する情報）             | 海外での津波の観測状況                                                                                                                       |
|      | 12 時 08 分 | 地震情報（遠地地震に関する情報）             | 海外での津波の観測状況                                                                                                                       |
|      | 12 時 46 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 12 時 44 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 13 時 18 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 13 時 14 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 13 時 25 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 13 時 23 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 13 時 30 分 | 報道発表                         | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 37 分頃のフィリピン付近の地震について（第 2 報）                                                                                   |
|      | 13 時 50 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 13 時 48 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 14 時 03 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 14 時 02 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 14 時 14 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 14 時 13 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 14 時 38 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 14 時 36 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 14 時 58 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 14 時 57 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 15 時 07 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 15 時 04 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 15 時 36 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 15 時 34 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 15 時 57 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 15 時 55 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 16 時 50 分 | 津波注意報の解除                     |                                                                                                                                   |
|      | 16 時 54 分 | 津波情報（津波観測に関する情報）             | 〔8 日 16 時 52 分現在の値〕                                                                                                               |
|      | 17 時 00 分 | 報道発表                         | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 37 分頃のフィリピン付近の地震について（第 3 報）                                                                                   |

表 1－2 近畿・中国・四国地方の管区气象台または地方气象台が発表した主な報道発表及び地震解説  
資料発表等（2026年 6 月 8 日）

| 月 日     | 時刻        | 情報発表、報道発表等の状況〔発表官署〕     | 備考（主な内容等）                                                                                                                                                          |
|---------|-----------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 月 8 日 | 11 時 00 分 | 報道発表（地震解説資料第 1 号発表）〔大阪〕 | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 38 分頃のフィリピン付近の地震について                                                                                                                           |
|         | 11 時 30 分 | 報道発表〔高松〕                | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 38 分頃のフィリピン付近の地震について                                                                                                                           |
|         | 18 時 00 分 | 地震解説資料第 2 号発表〔大阪〕       | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 38 分頃のフィリピン付近の地震について<br>和歌山県、高知県に発表されていた津波注意報を解除<br>「津波注意報が発表されていた沿岸等では津波に伴う海面変動が観測されており、今後 1 日程度は継続する可能性が高いと考えられる。海に入っの作業や釣りなどに際しては十分な留意が必要。」 |

表 1－3 福岡管区气象台及び福岡管内の地方气象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料  
(2026年 6 月 8 日)

| 月 日     | 時刻        | 情報発表、報道発表等の状況 [発表官署]       | 備考 (主な内容等)                         |
|---------|-----------|----------------------------|------------------------------------|
| 6 月 8 日 | 11 時 00 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 1 号) [福岡]  | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |
|         | 11 時 10 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 1 号) [鹿児島] | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |
|         | 11 時 15 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 1 号) [宮崎]  | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |
|         | 17 時 30 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 2 号) [福岡]  | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |
|         | 17 時 30 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 2 号) [鹿児島] | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |
|         | 18 時 00 分 | 報道発表資料 (地震解説資料第 2 号) [宮崎]  | 令和 8 年 6 月 8 日のフィリピン付近の地震による津波について |

表 1－4 沖縄地方の気象台が発表した主な報道発表及び地震解説資料発表等（2026年 6 月 8 日）

| 月 日     | 時刻        | 情報発表、報道発表等の状況〔発表官署〕 | 備考（主な内容等）                                       |
|---------|-----------|---------------------|-------------------------------------------------|
| 6 月 8 日 | 11 時 00 分 | 報道発表〔沖縄〕            | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 38 分頃のフィリピン付近の地震について        |
|         | 14 時 00 分 | 報道発表〔沖縄〕            | 令和 8 年 6 月 8 日 08 時 38 分頃のフィリピン付近の地震について（第 2 報） |

## (2) 地震活動

### ア. 最近の地震活動 (注2)

2026年6月8日08時37分にフィリピン諸島、ミンダナオの深さ55kmでMw7.7 (Mwは気象庁による) の地震が発生した。この地震の発震機構 (気象庁によるCMT解) は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (図2-1の領域a) ではM6.0以上の地震が時々発生しており、2002年3月6日には今回の地震より西側でMw7.5 (MwはGlobal CMTによる) の地震が発生した。また、今回の地震の震央付近では、2017年4月29日にMw6.9 (MwはGlobal CMTによる) の地震が、2023年11月17日にはMw6.8 (MwはGlobal CMTによる) の地震が発生していた。

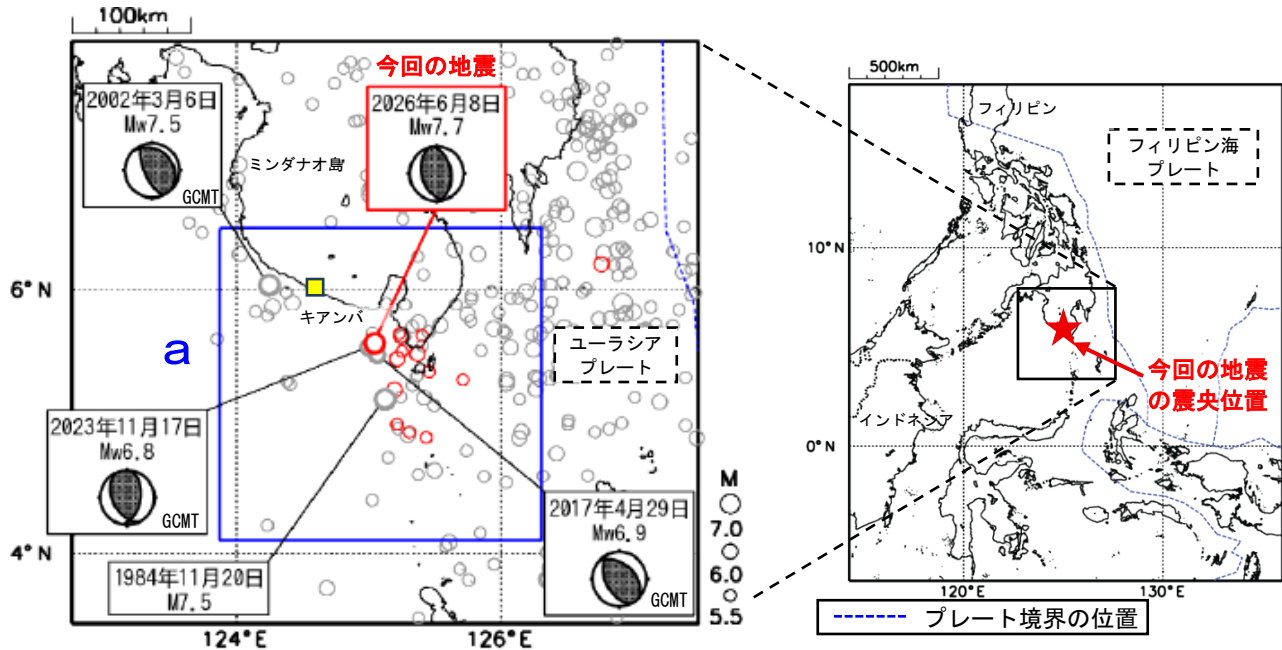


図2-1 震央分布図 (1980年1月1日~2026年6月30日、深さ0~250km、 $M \geq 5.5$ )  
2026年6月以降の地震を赤色で表示

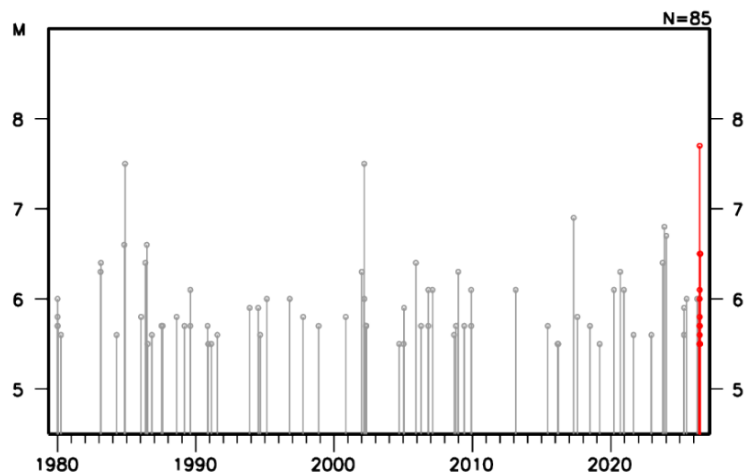


図2-2 図2-1の領域a内のM-T図

(注2) 震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2026年7月6日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震のうち、2026年6月8日08時37分の地震のMw及び発震機構は気象庁による、それ以外の地震のMw及び発震機構はGlobal CMTによる。プレート境界の位置はBird (2003) <sup>\*1</sup>より引用。

<sup>\*1</sup> 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

今回の地震の震央付近（領域b）の時空間分布図を見ると、Mw7.7の地震の発生後、地震活動域が南側に100km程度の範囲で広がり、6月8日09時55分及び6月26日にはM6.5の地震が発生している。6月30日現在、地震活動は概ね減衰してきている。

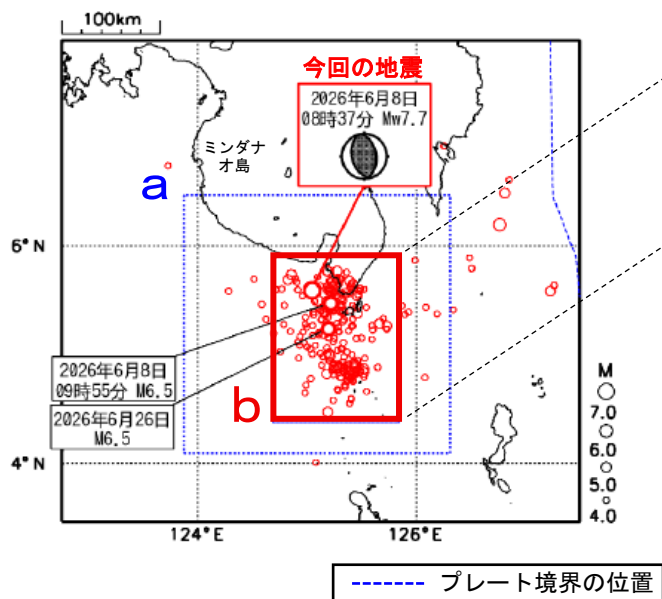


図2-3 図2-1の震央周辺の拡大図  
(2026年6月1日～6月30日、  
深さ0～250km、 $M \geq 4.5$ )

図2-4 図2-3の領域b内の  
時空間分布図（南北投影）及びM-T図

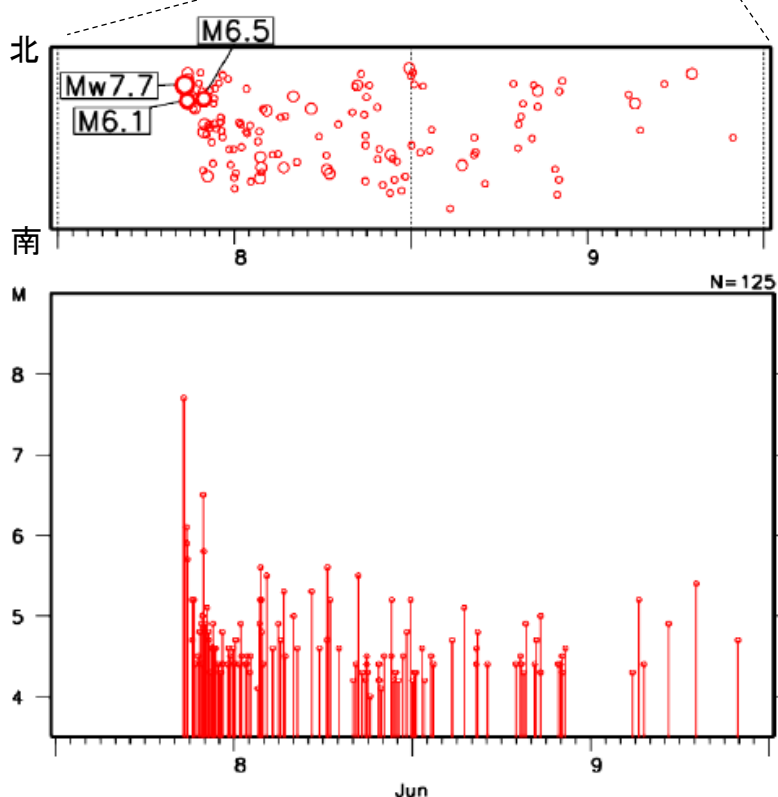
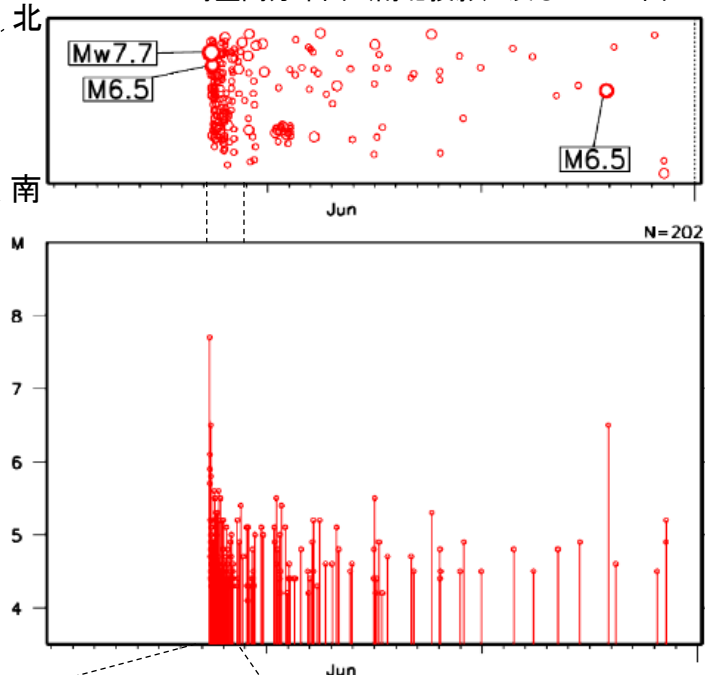


図2-5 図2-3の領域b内の  
時空間分布図（南北投影）及びM-T図  
(2026年6月8日～6月9日)

## イ. 発震機構 (注3)

今回の地震の震央周辺の発震機構の分布をみると、概ね東西～北西－南東に圧力軸を持つ逆断層型の地震が多く発生している (図2-6)。今回の地震の発震機構は、これまでの地震の傾向と調和的である。

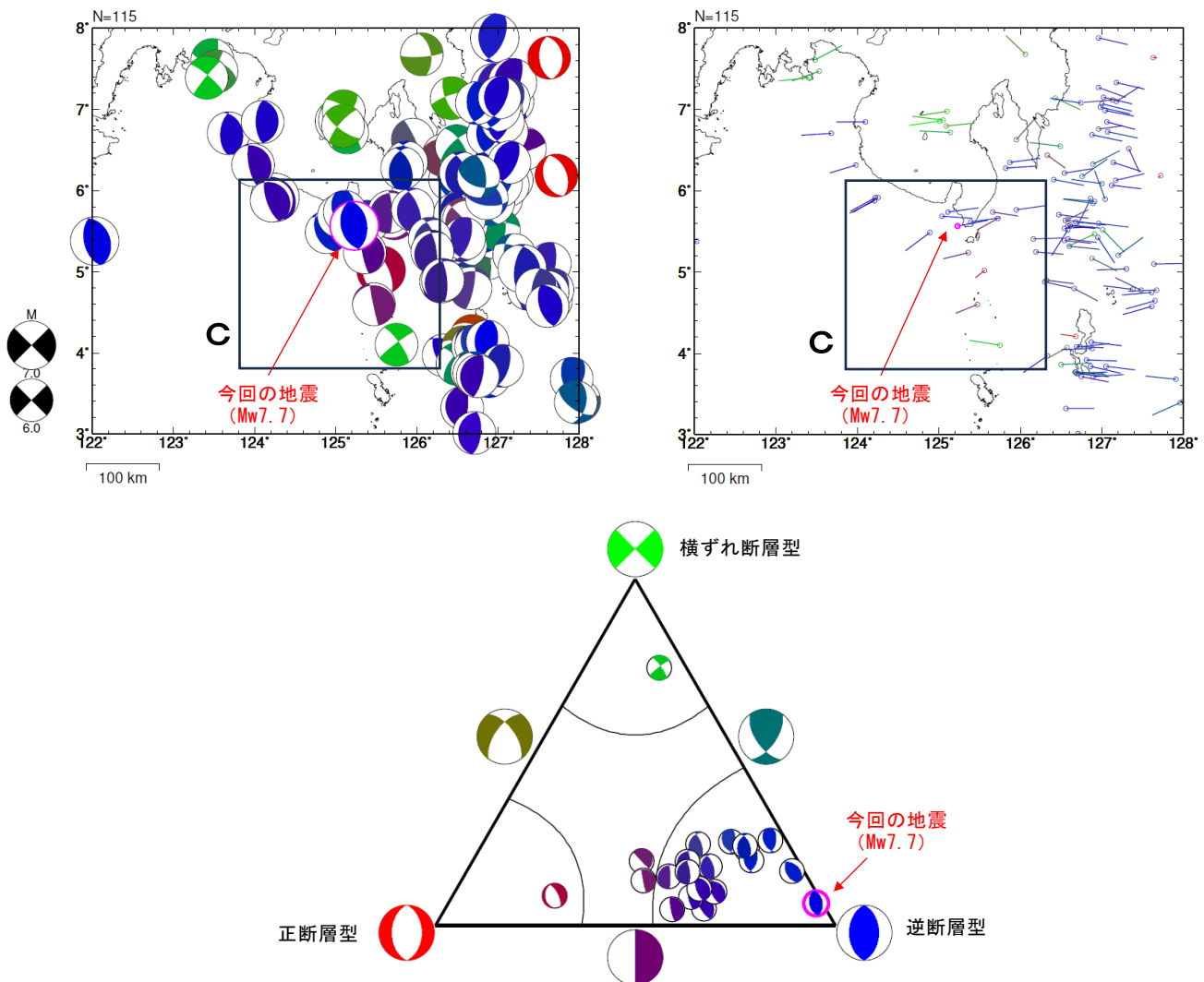


図2-6 発震機構分布図 (左)、発震機構分布図内の領域c内の発震機構の型の分布 (中)、  
発震機構の圧力軸の向きの分布 (右)  
(1980年1月1日～2026年6月30日、深さ：0～200km、 $M \geq 6.0$ )  
逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示  
(Frohlich (2001)による分類)。

(注3) 震源要素及び発震機構は、Global CMTによる。ただし、今回の地震の震源要素及び発震機構は気象庁による。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird (2003) \*1より引用。  
\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

## ウ. 遠地実体波を用いた震源過程解析

### ①南北方向の節面（走向 355°、傾斜 46°、すべり角 97°）を仮定した場合

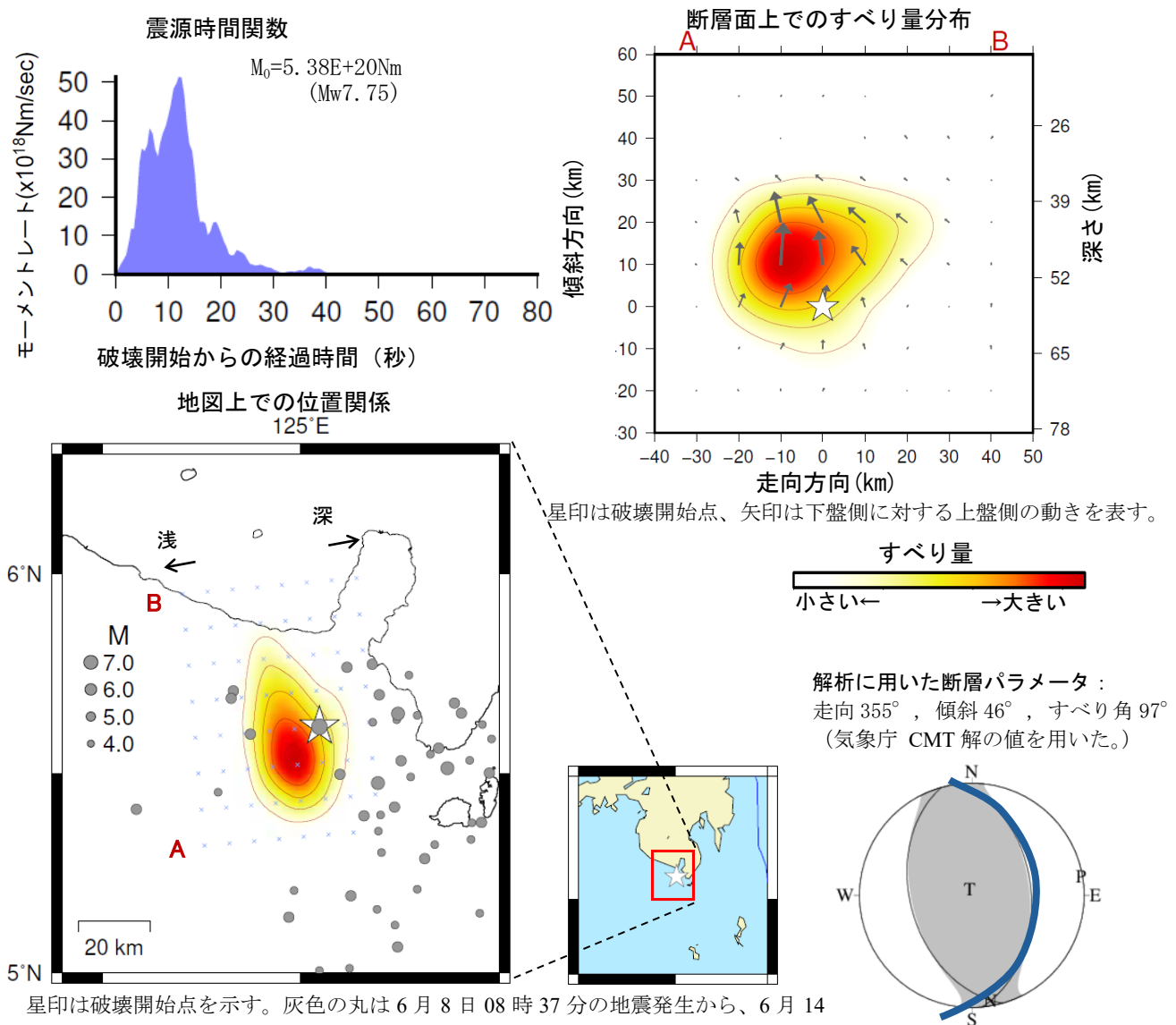
2026 年 6 月 8 日 08 時 37 分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震について、EarthScope Consortium のデータ管理センター（DMC）より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析（注 1）を行った。

破壊開始点は、USGS による震源の位置（5° 37.0′ N、125° 2.8′ E、深さ 57km）とした。断層面は、気象庁 CMT 解の 2 枚の節面のうち、南北方向の節面（走向 355°、傾斜 46°、すべり角 97°）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 2.0km/s とした。理論波形の計算には CRUST2.0 (Bassin et al., 2000) および IASP91 (Kennett and Engdahl, 1991) の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり（この結果は暫定であり、今後更新することがある）。

- ・主な破壊領域は走向方向に約 50km、傾斜方向に約 40km であった。
- ・主なすべりは破壊開始点から西側の浅い領域に広がり、最大すべり量は 8.4m であった（周辺の構造から剛性率を 60GPa として計算）。
- ・主な破壊継続時間は約 30 秒であった。
- ・モーメントマグニチュード (Mw) は 7.8 であった。

結果の見方は、[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about\\_srcproc.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about_srcproc.html) を参照。



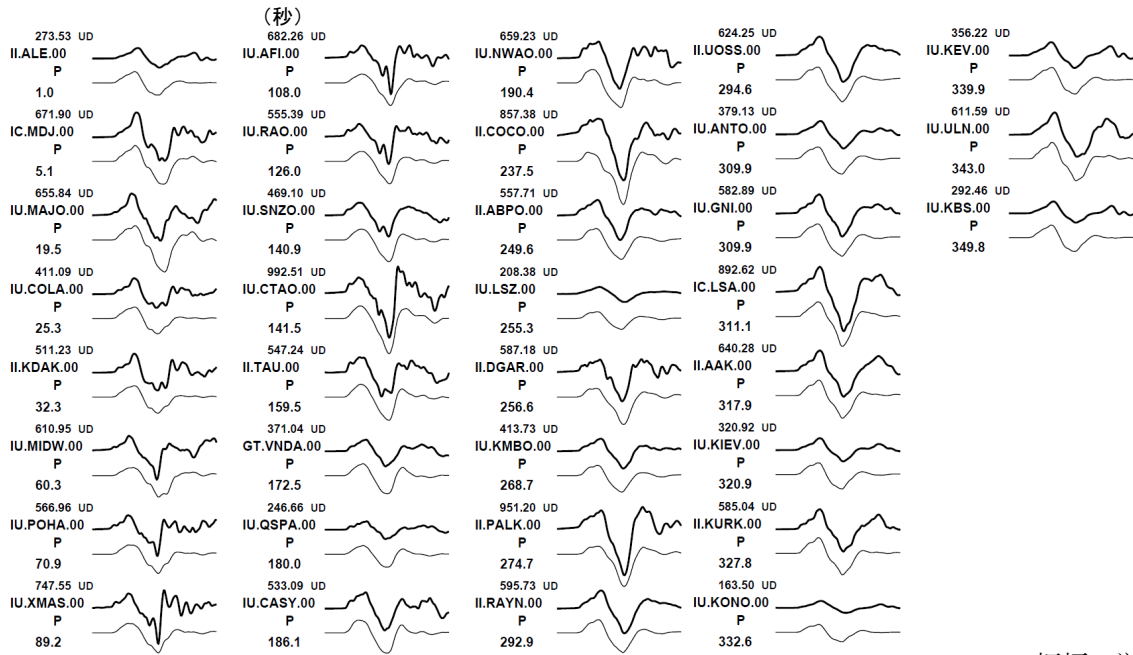
（注 1）解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,  
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

作成日：2026/6/30

気象庁作成

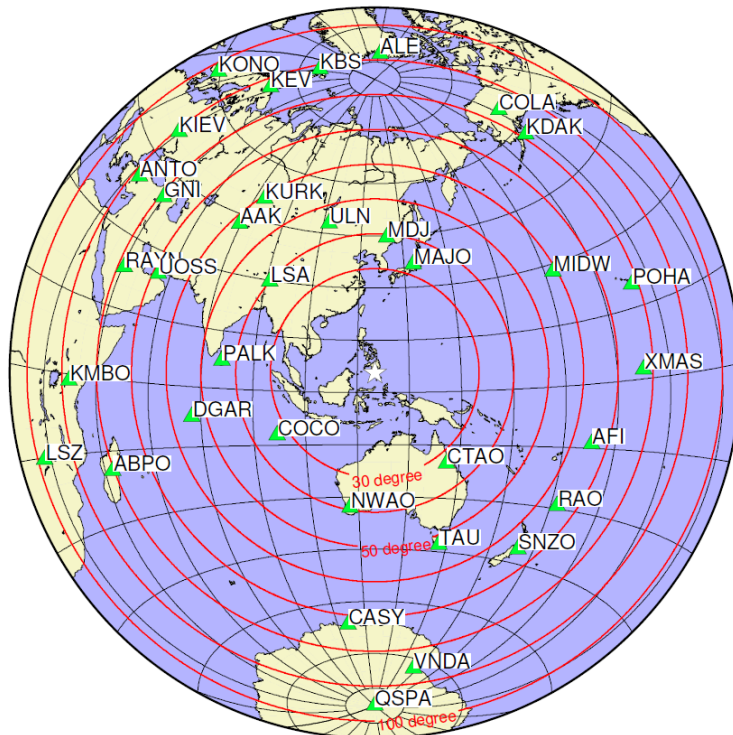
観測波形（上：0.01Hz-0.5Hz）と理論波形（下）の比較



振幅の単位は  $\mu m$

残差 0.2505

観測点分布



震央距離  $30^{\circ} \sim 100^{\circ}$  ※1 の 35 観測点※2 (P 波 : 35、SH 波 : 0) を使用。

※1 : 近すぎると理論的に扱いづらくなる波の計算があり、逆に遠すぎると、液体である外核を通るため、直達波が到達しない。そのため、評価しやすい距離の波形記録のみを使用。

※2 : EarthScope Consortium より取得した広帯域地震波形記録を使用。

参考文献

Bassin, C., Laske, G. and Masters, G., 2000, The Current Limits of Resolution for Surface Wave Tomography in North America, EOS Trans AGU, 81, F897.

Kennett, B. L. N. and E. R. Engdahl, 1991, Traveltimes for global earthquake location and phase identification, Geophys. J. Int., 105, 429-465.

作成日 : 2026/6/30

気象庁作成

## ②南北方向の節面（走向 164°、傾斜 44°、すべり角 82°）を仮定した場合

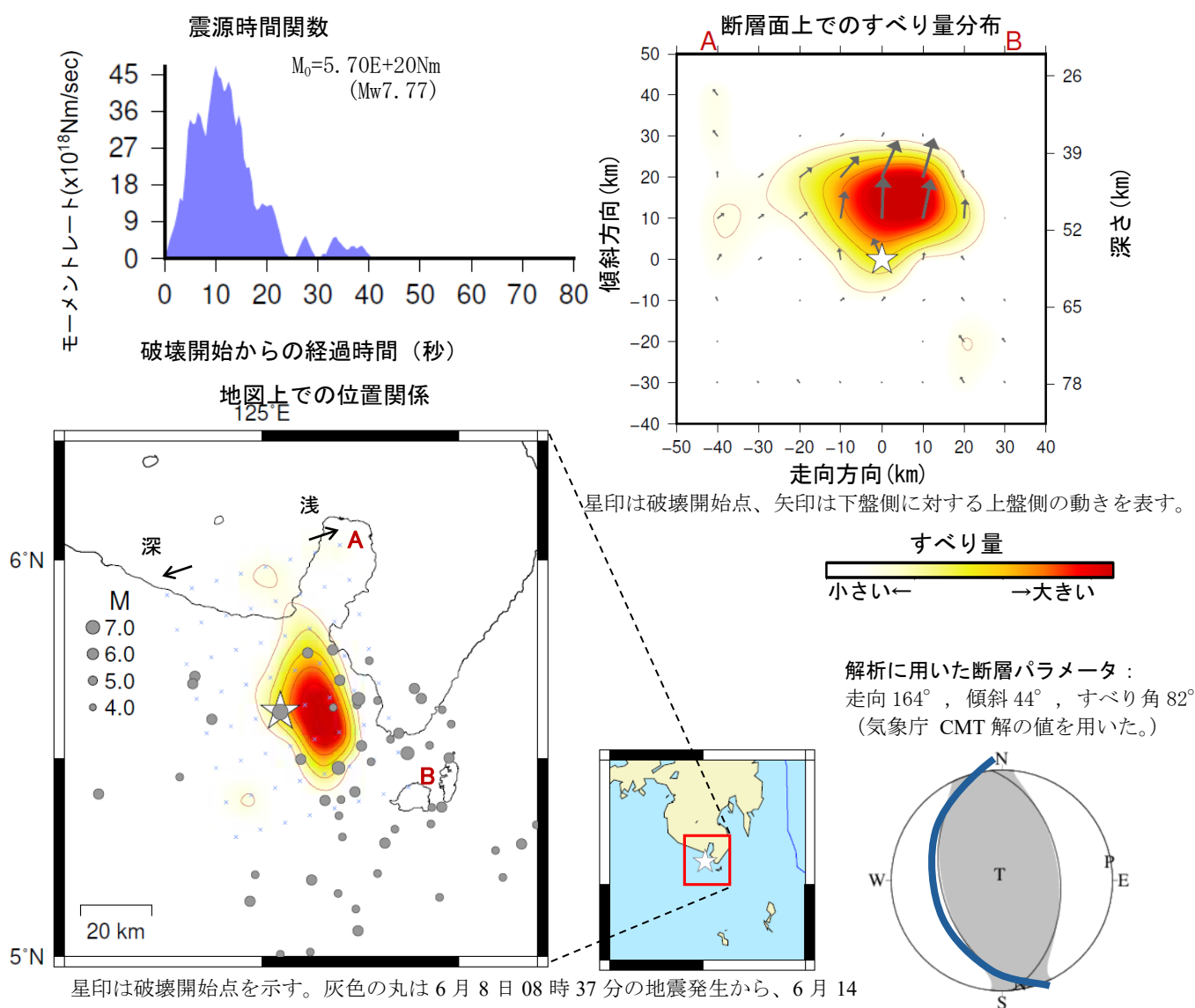
2026 年 6 月 8 日 08 時 37 分（日本時間）にフィリピン諸島、ミンダナオで発生した地震について、EarthScope Consortium のデータ管理センター（DMC）より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析（注 1）を行った。

破壊開始点は、USGS による震源の位置（5° 37.0' N、125° 2.8' E、深さ 57km）とした。断層面は、気象庁 CMT 解の 2 枚の節面のうち、南北方向の節面（走向 164°、傾斜 44°、すべり角 82°）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 2.0km/s とした。理論波形の計算には CRUST2.0 (Bassin et al., 2000) および IASP91 (Kennett and Engdahl, 1991) の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり（この結果は暫定であり、今後更新することがある）。

- ・主な破壊領域は走向方向に約 50km、傾斜方向に約 40km であった。
- ・主なすべりは破壊開始点から東側の浅い領域に広がり、最大すべり量は 8.5m であった（周辺の構造から剛性率を 60GPa として計算）。
- ・主な破壊継続時間は約 30 秒であった。
- ・モーメントマグニチュード (Mw) は 7.8 であった。

結果の見方は、[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about\\_srcproc.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about_srcproc.html) を参照。



星印は破壊開始点を示す。灰色の丸は 6 月 8 日 08 時 37 分の地震発生から、6 月 14 日 23 時 59 分までの震央を示す (M4.0 以上、USGS による)。

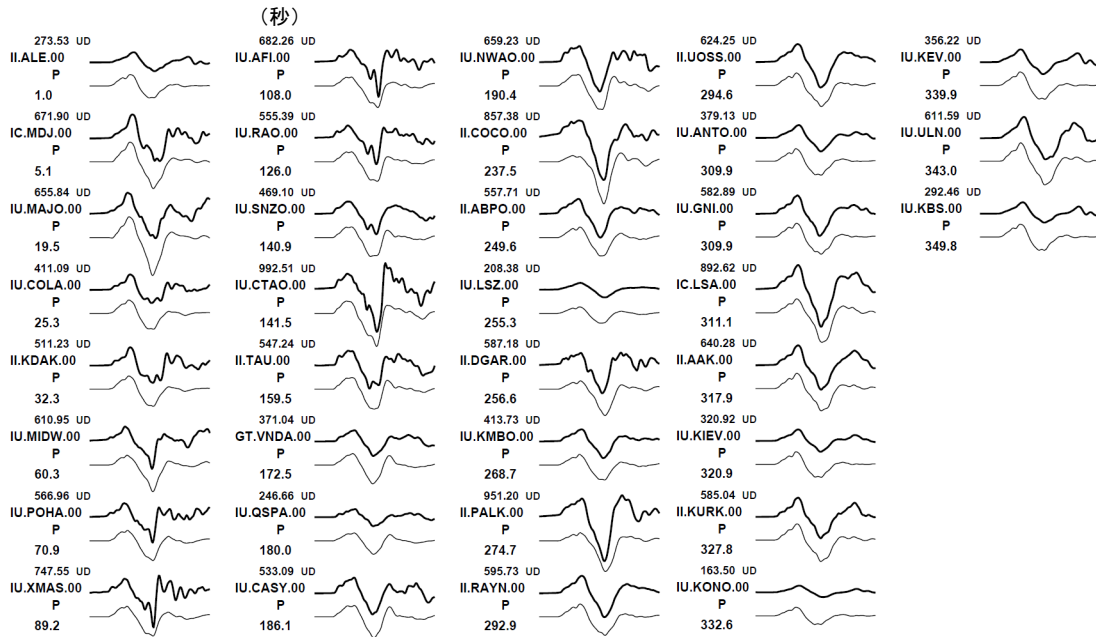
(注 1) 解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,  
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

作成日：2026/6/30

気象庁作成

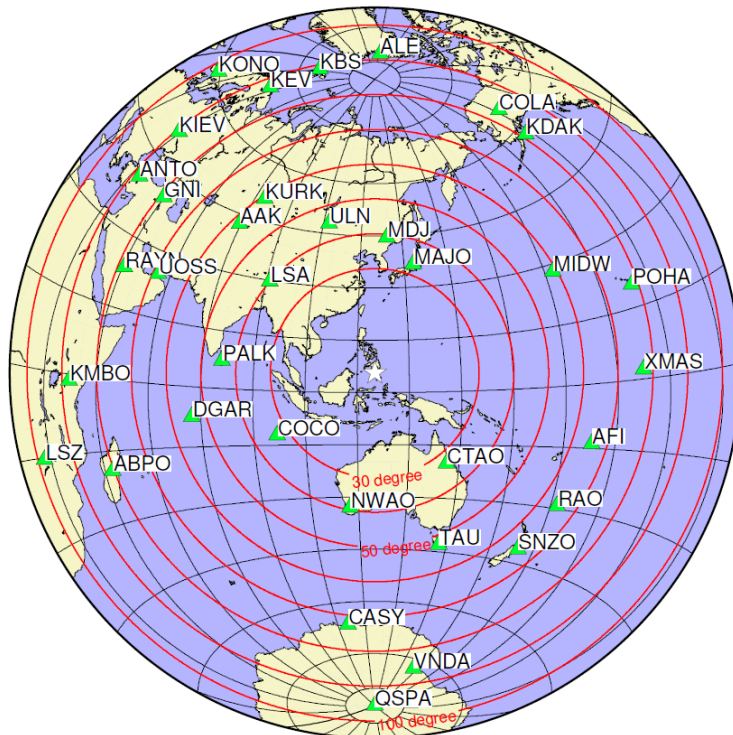
観測波形（上：0.01Hz-0.5Hz）と理論波形（下）の比較



振幅の単位は  $\mu m$

残差 0.2093

観測点分布



震央距離  $30^{\circ} \sim 100^{\circ}$  ※1 の 35 観測点※2 (P 波 : 35、SH 波 : 0) を使用。

※1 : 近すぎると理論的に扱いづらくなる波の計算があり、逆に遠すぎると、液体である外核を通るため、直達波が到達しない。そのため、評価しやすい距離の波形記録のみを使用。

※2 : EarthScope Consortium より取得した広帯域地震波形記録を使用。

参考文献

Bassin, C., Laske, G. and Masters, G., 2000, The Current Limits of Resolution for Surface Wave Tomography in North America, EOS Trans AGU, 81, F897.

Kennett, B. L. N. and E. R. Engdahl, 1991, Traveltimes for global earthquake location and phase identification, Geophys. J. Int., 105, 429-465.

作成日 : 2026/6/30

気象庁作成

## エ. 過去に発生した主な地震 (注4)

1904 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 d）では M7.0 以上の地震が時々発生しており、1984 年 11 月 20 日の Mw7.5 の地震を除けば、いずれも深さが 100km 未満の地震である。

1918 年 8 月 15 日には M8.3 の地震が発生し、死者が発生するなどの被害を生じた。また、1976 年 8 月 17 日には Mw8.0 の地震が発生し、死者 8,000 人などの被害が生じた。

2002 年 3 月 6 日には Mw7.5 の地震が発生し、死者 15 人、負傷者 100 人などの被害を生じた。

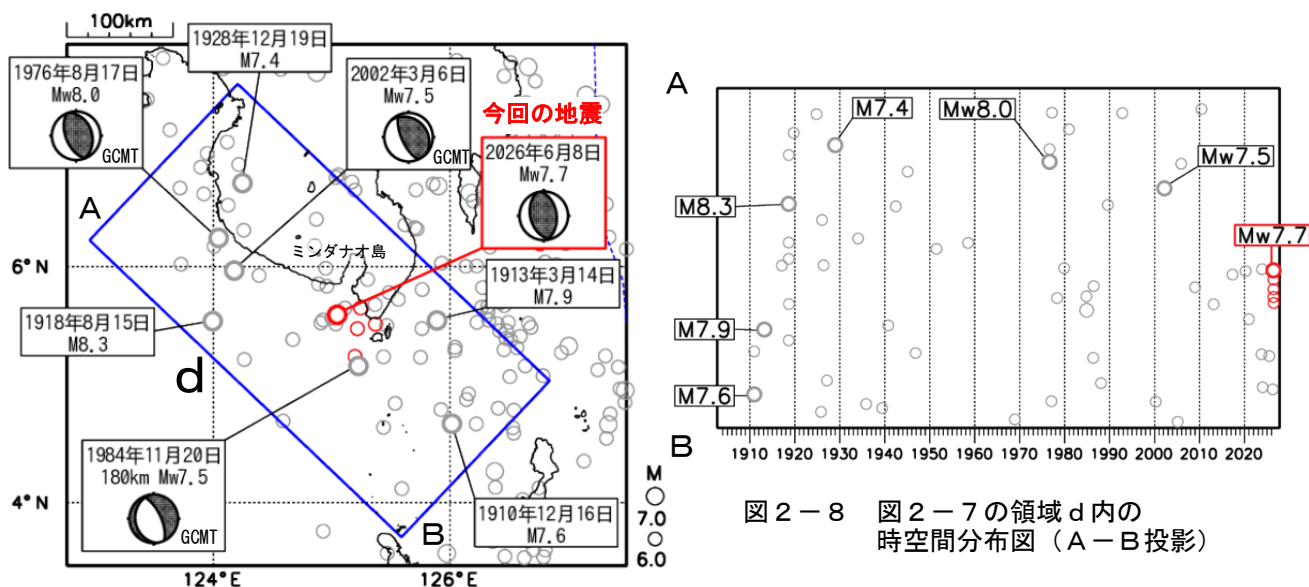


図 2-7 震央分布図（1904 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日、深さ 0～250km、 $M \geq 6.0$ ）  
2026 年 6 月以降の地震を赤色で表示

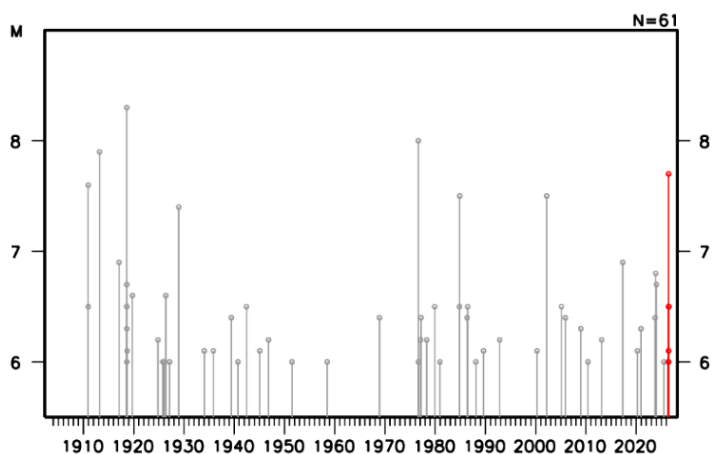


図 2-9 図 2-7 の領域 d 内の M-T 図

(注4) 震源要素は、2021 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12 (1904-2021)、2022 年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2026 年 6 月 30 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震のうち、1976 年 8 月 17 日及び 1984 年 11 月 20 日並びに 2002 年 3 月 6 日の地震の Mw 及び発震機構は Global CMT による。2026 年 6 月 8 日の地震の Mw 及び発震機構は気象庁による。被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird (2003) \*1 より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

### (3) 津波

この地震により、小笠原諸島の父島二見で最大17cmの津波を観測したほか、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。なお、気象庁はこの地震に対して、6月8日09時05分に茨城県から沖縄県にかけての太平洋沿岸、伊豆諸島及び小笠原諸島に津波注意報を発表した。その後、16時50分に津波注意報を解除した。津波観測値(暫定値)は表3-1のとおり。

表3-1 津波観測値(2026年6月8日、暫定値)

| 都道府県 | 観測点名    | 所属       | 第一波  |    |    | 最大波  |    |    |        |
|------|---------|----------|------|----|----|------|----|----|--------|
|      |         |          | 到達時刻 |    |    | 発現時刻 |    |    | 高さ[cm] |
|      |         |          | 日    | 時  | 分  | 日    | 時  | 分  |        |
| 千葉県  | 館山市布良   | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 06 | 7      |
| 東京都  | 父島二見    | 気象庁      | 8    | 12 | -  | 8    | 17 | 24 | 17     |
|      | 三宅島阿古   | 海上保安庁    | 8    | -  | -  | 8    | 14 | 58 | 6      |
| 静岡県  | 下田港     | 国土交通省港湾局 | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 41 | 11     |
|      | 南伊豆町手石港 | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 20 | 28 | 7      |
|      | 御前崎     | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 26 | 9      |
| 愛知県  | 田原市赤羽根  | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 21 | 00 | 10     |
| 三重県  | 鳥羽      | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 14 | 8      |
|      | 尾鷲      | 気象庁      | 8    | 13 | -  | 8    | 17 | 22 | 9      |
|      | 熊野市遊木   | 気象庁      | 8    | 13 | -  | 8    | 16 | 02 | 7      |
| 和歌山県 | 那智勝浦町浦神 | 気象庁      | 8    | 13 | 12 | 8    | 21 | 38 | 6      |
|      | 串本町袋港   | 気象庁      | 8    | 13 | 09 | 8    | 14 | 12 | 16     |
| 徳島県  | 徳島由岐    | 気象庁      | 8    | 13 | -  | 8    | 18 | 11 | 13     |
| 高知県  | 室戸市室戸岬  | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 16 | 04 | 7      |
|      | 高知      | 気象庁      | 8    | 13 | -  | 8    | 18 | 23 | 4      |
| 宮崎県  | 日向市細島   | 宮崎県      | 8    | -  | -  | 8    | 16 | 51 | 4      |
|      | 宮崎港     | 国土交通省港湾局 | 8    | -  | -  | 8    | 16 | 48 | 11     |
|      | 日南市油津   | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 15 | 17 | 8      |
| 鹿児島県 | 志布志港    | 国土交通省港湾局 | 8    | -  | -  | 8    | 22 | 27 | 10     |
|      | 種子島西之表  | 海上保安庁    | 8    | -  | -  | 8    | 20 | 35 | 10     |
|      | 種子島熊野   | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 32 | 13     |
|      | 奄美市小湊   | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 16 | 31 | 9      |
| 沖縄県  | 沖縄市中城湾港 | 内閣府      | 8    | -  | -  | 8    | 15 | 52 | 5      |
|      | 南城市安座真  | 国土地理院    | 8    | -  | -  | 8    | 18 | 04 | 4      |
|      | 宮古島平良   | 内閣府      | 8    | -  | -  | 8    | 15 | 02 | 4      |
|      | 石垣島石垣港  | 気象庁      | 8    | -  | -  | 8    | 14 | 34 | 4      |

- は値が決定できないことを示す。

観測値は、所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。精査により変更される場合がある。

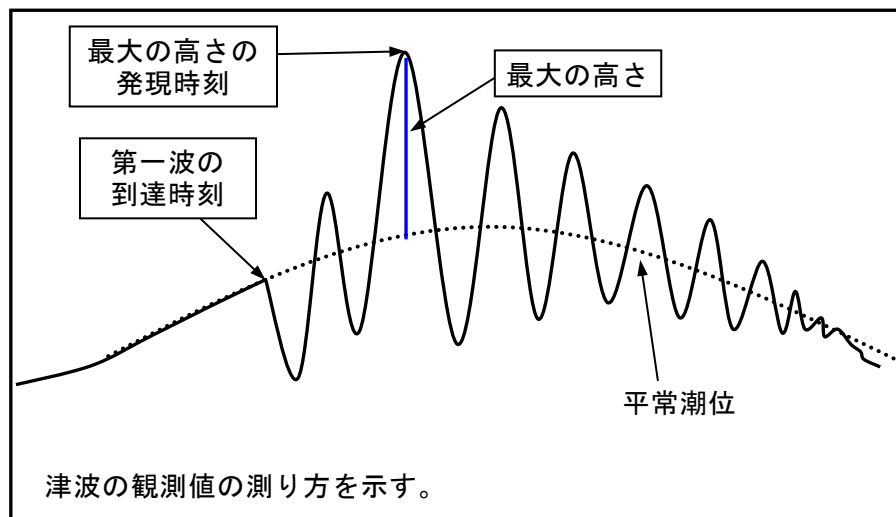


図 3 - 1 津波の測り方の模式

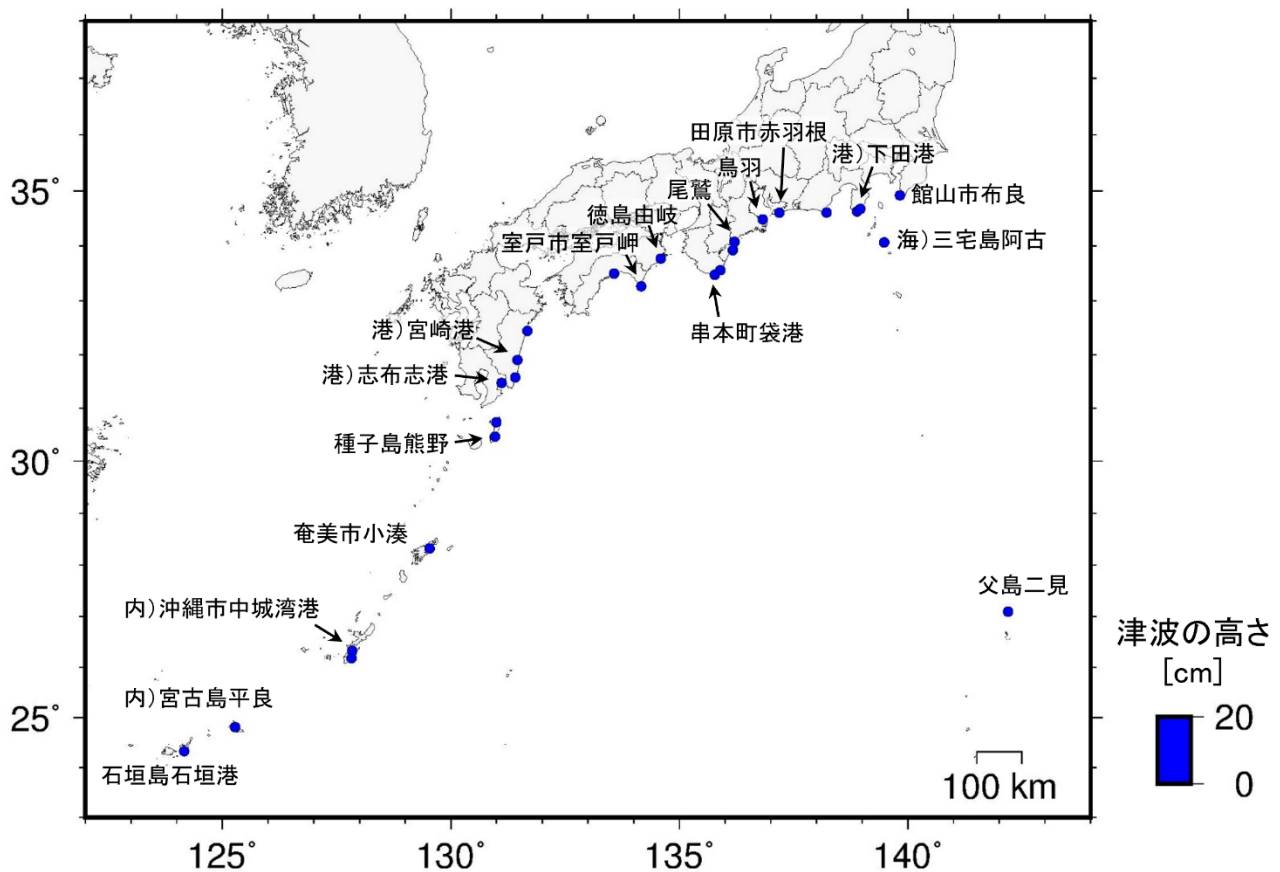


図 3 - 2 津波を観測した地点  
内) は内閣府、港) は国土交通省港湾局、海) は海上保安庁の所属であることを示す。

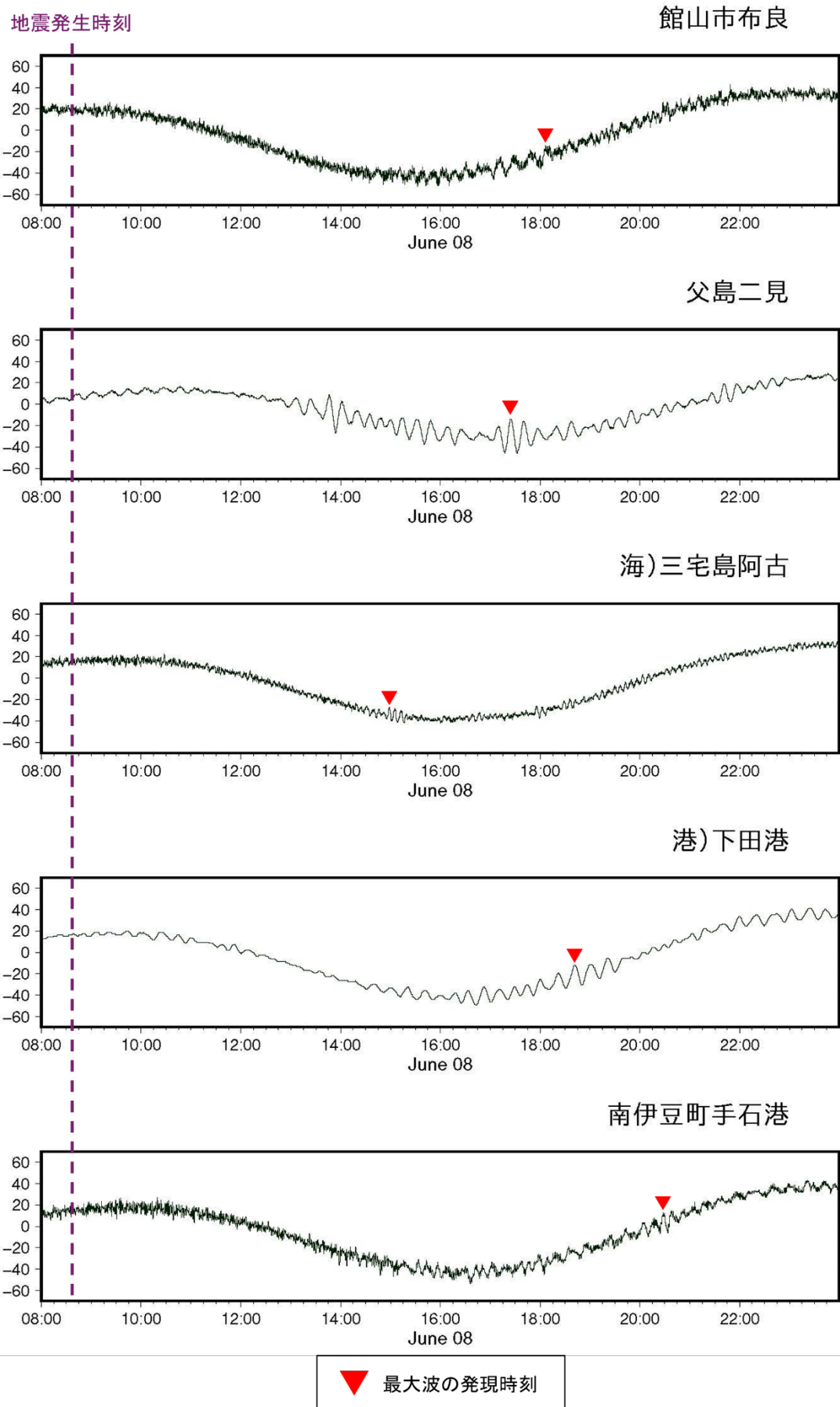


図3-3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）（続く）  
縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局、海)は海上保安庁の所属であることを表す。

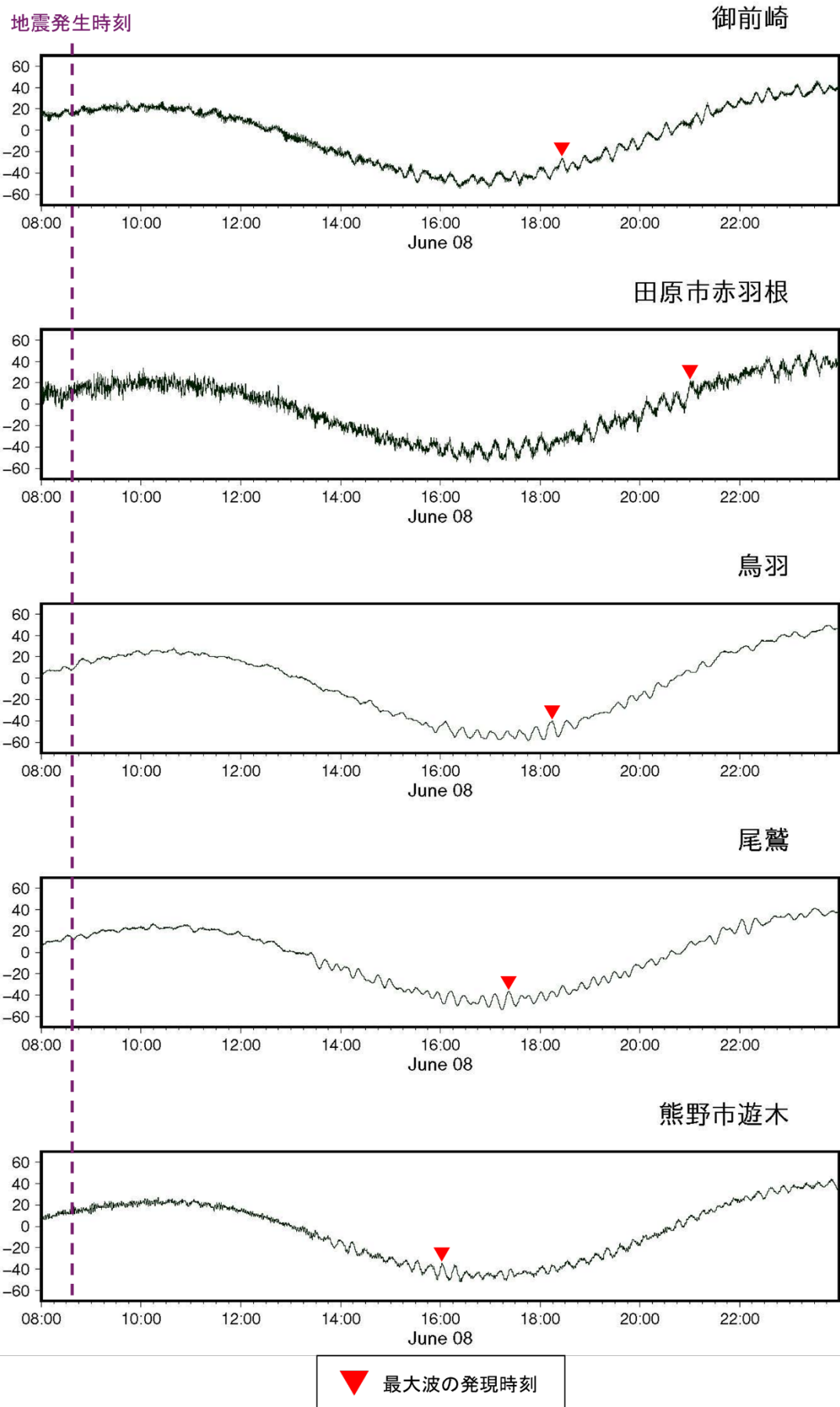
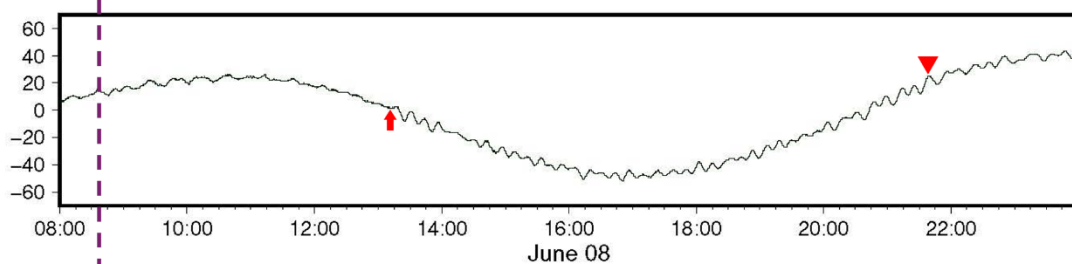


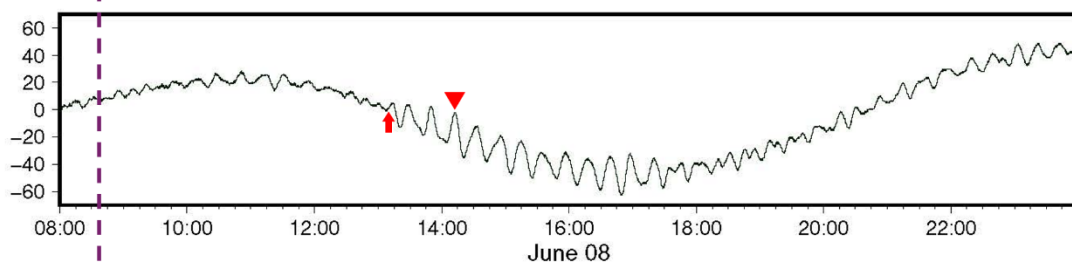
図3-3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）（続く）  
縦軸の単位はcm。

地震発生時刻

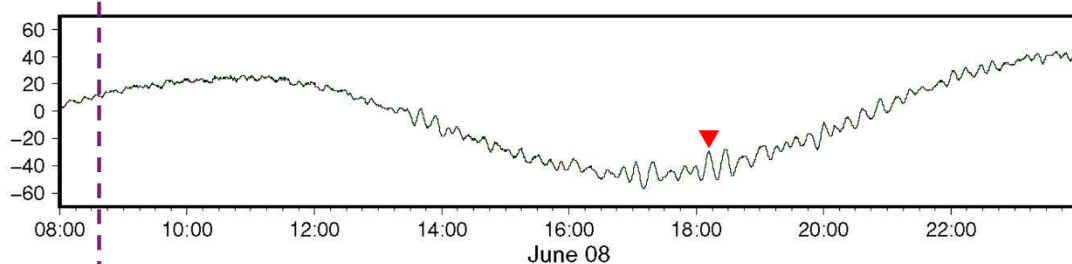
那智勝浦町浦神



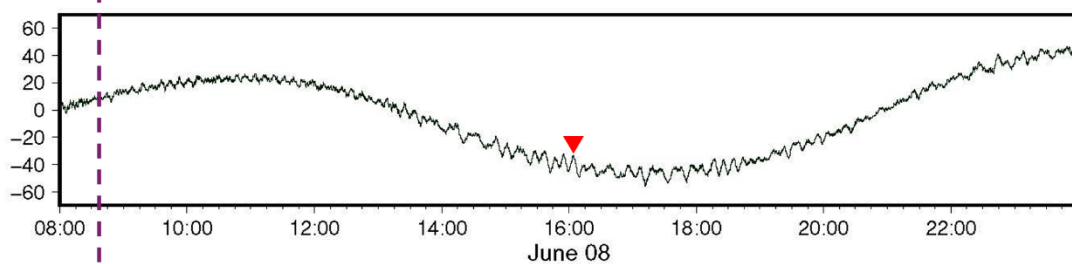
串本町袋港



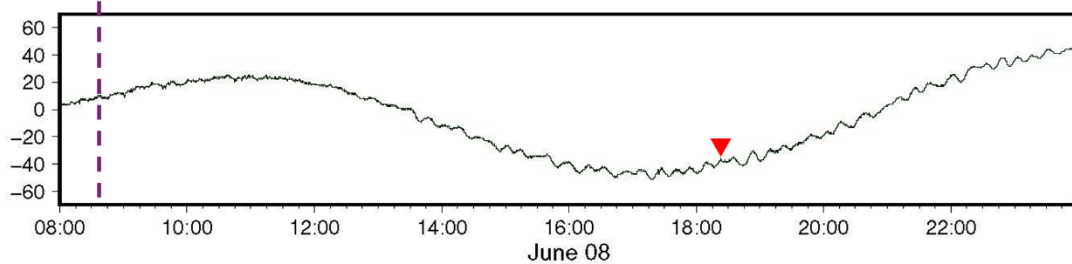
徳島由岐



室戸市室戸岬



高知



第一波の到達時刻

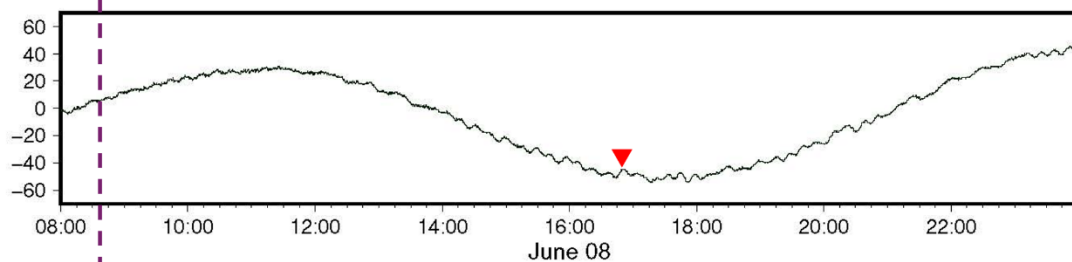


最大波の発現時刻

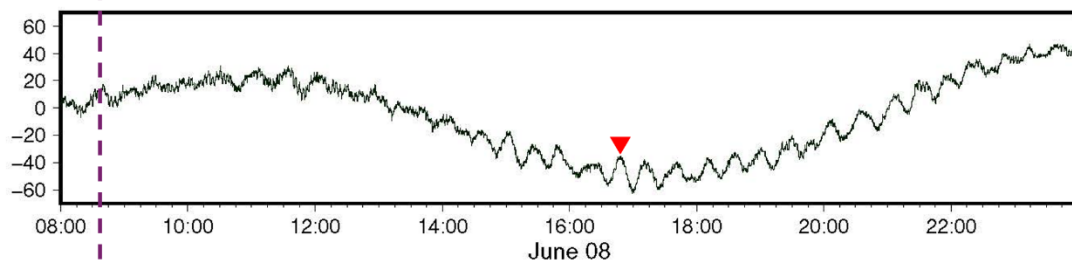
図3-3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）（続く）  
縦軸の単位はcm。

地震発生時刻

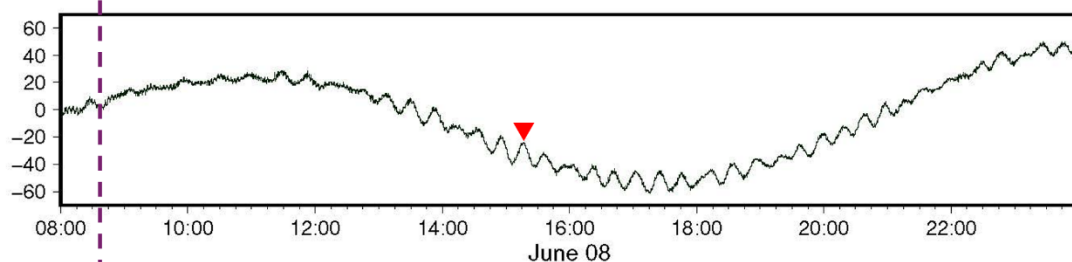
県)日向市細島



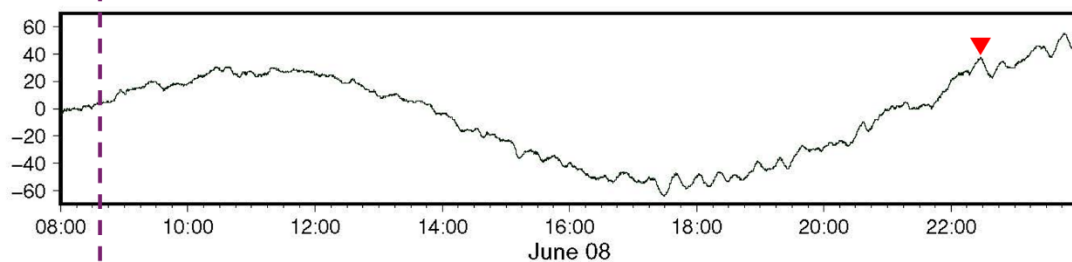
港)宮崎港



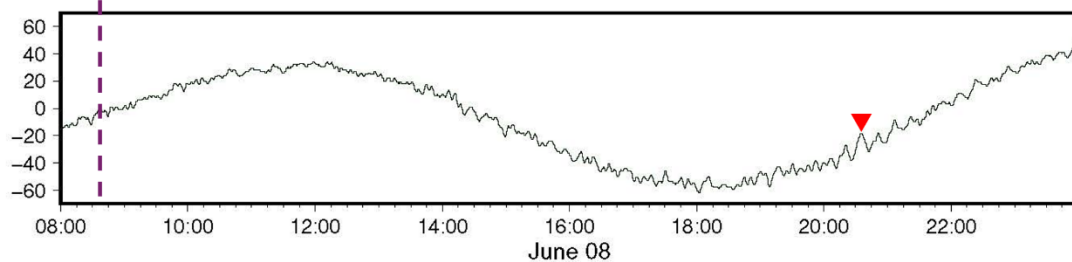
日南市油津



港)志布志港



海)種子島西之表

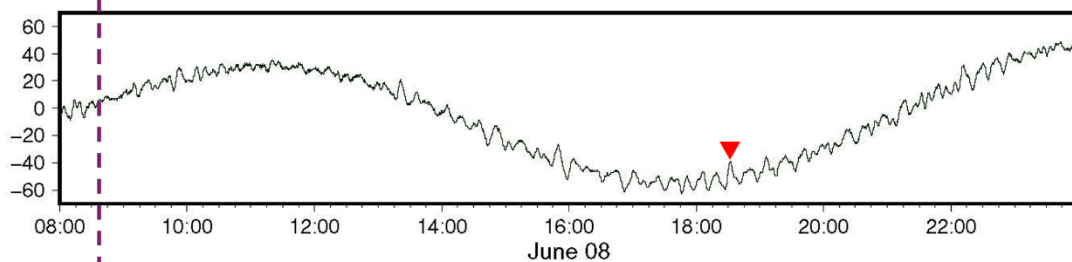


最大波の発現時刻

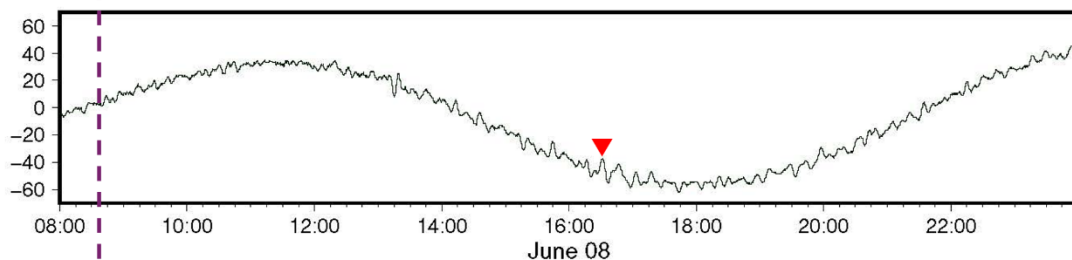
図3-3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）（続く）  
縦軸の単位はcm。港)は国土交通省港湾局、海)は海上保安庁、県)は宮崎県の所属であることを表す。

地震発生時刻

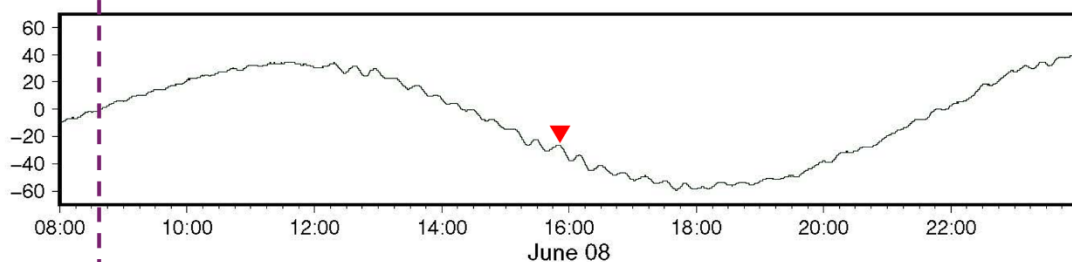
種子島熊野



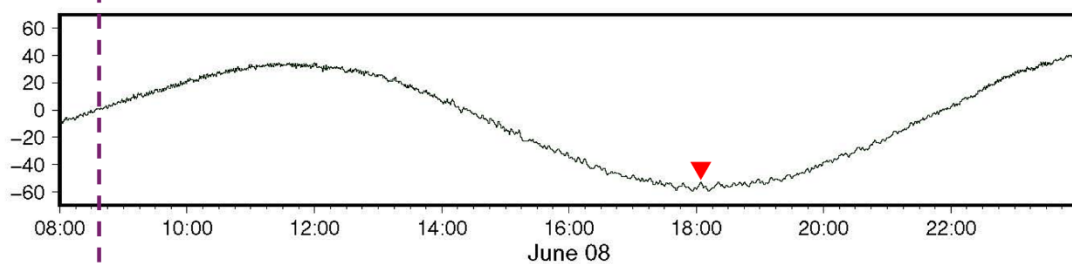
奄美市小湊



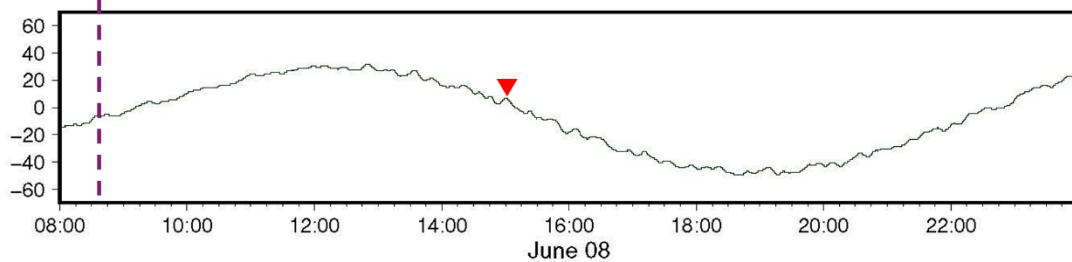
内) 沖縄市中城湾港



国) 南城市安座真



内) 宮古島平良



最大波の発現時刻

図3-3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）（続く）  
縦軸の単位は cm。内)は内閣府、国)は国土地理院の所属であることを表す。

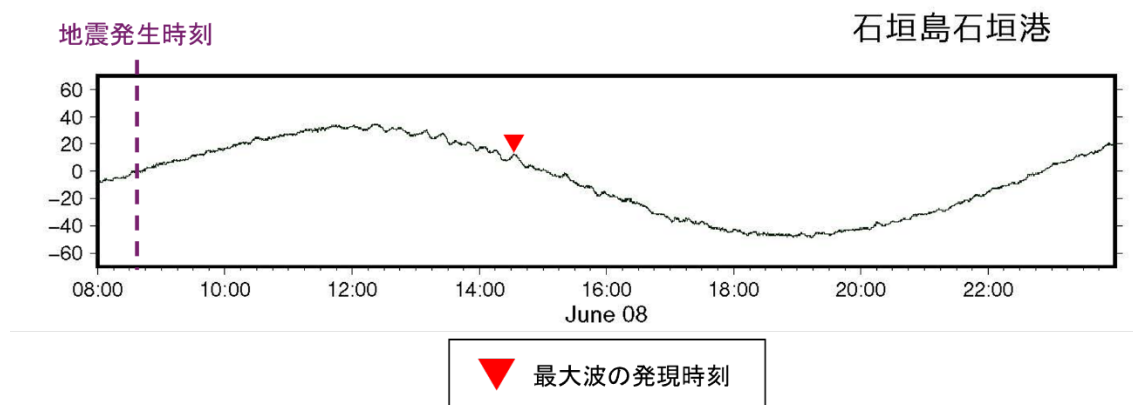


図3－3 津波波形（2026年6月8日08時から9日00時まで）  
縦軸の単位はcm。

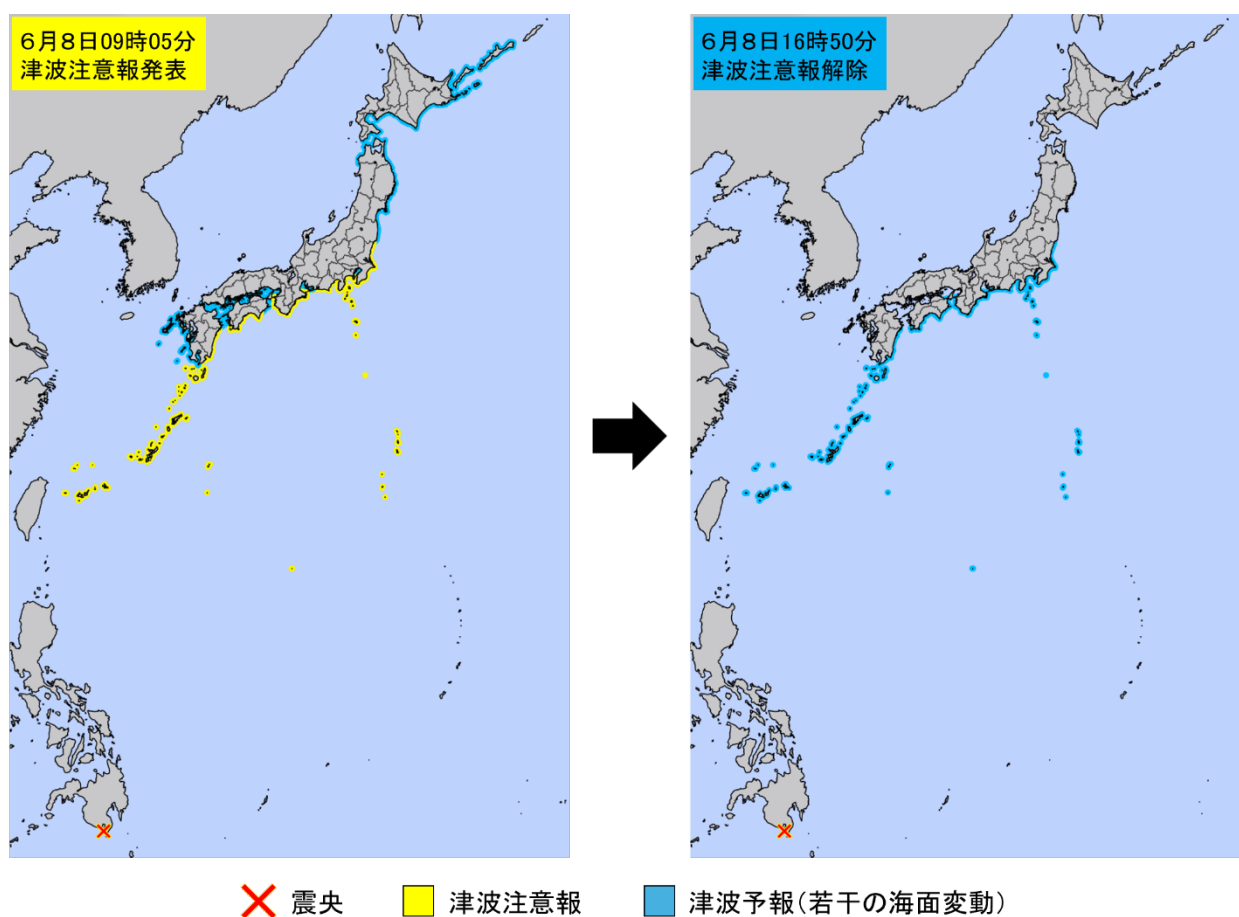


図3－4 発表した津波注意報

# 2026年6月25日 ベネズエラ沿岸の地震

## (1) 概要及び最近の地震活動 (注1)

2026年6月25日07時04分(日本時間、以下同じ)にベネズエラ沿岸の深さ20kmでM7.2の地震(今回の地震①)が発生した。また、約1分後の6月25日07時05分に、隣接した場所の深さ10kmでMw7.5(MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード)の地震(今回の地震②)が発生した。今回の地震②の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は今回の地震①に対して、同日08時14分に遠地地震に関する情報(日本への津波の心配なし)を発表した。これらの地震により、ベネズエラで死者3,535人、負傷者16,740人などの被害を生じた(2026年7月7日現在)。また、プエルトリコのモナ島とヤブコア湾で0.04mなどの津波を観測した。

2000年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)ではM5.0以上の地震が時々発生している。2009年9月13日にはMw6.4(Global CMTによる)の地震が発生し、負傷者18人などの被害が生じた。また2025年9月25日には、07時21分にMw6.2の地震(Global CMTによる)が発生し、同日12時51分にMw6.3(Global CMTによる)の地震が発生した。

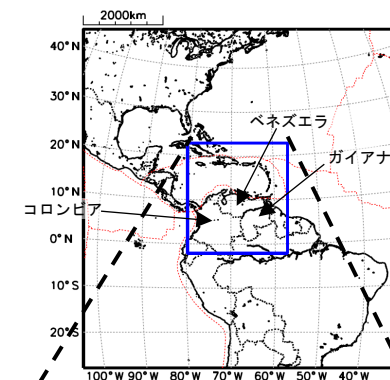


図1-1 震央分布図

(2000年1月1日~2026年6月30日、深さ0~50km、M $\geq$ 5.0)

2026年6月の地震を赤色で表示

今回の地震①

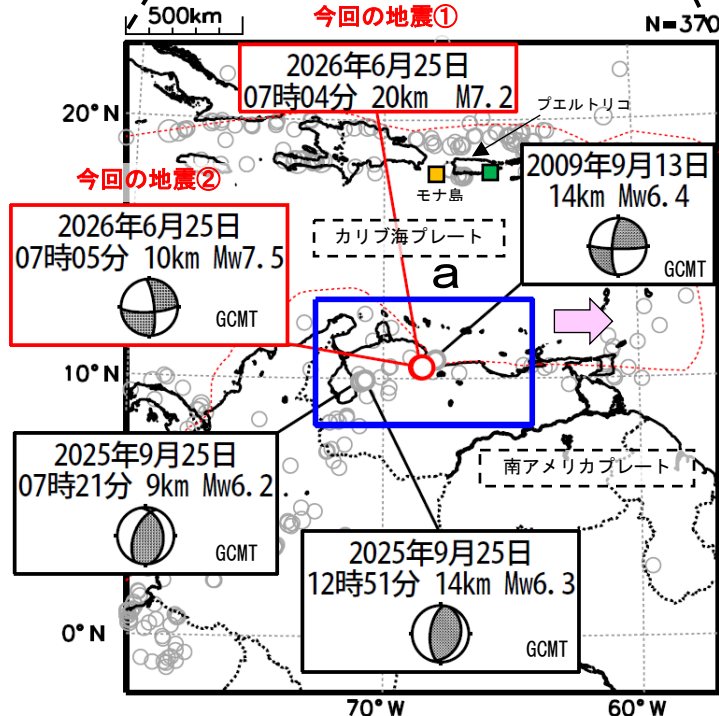
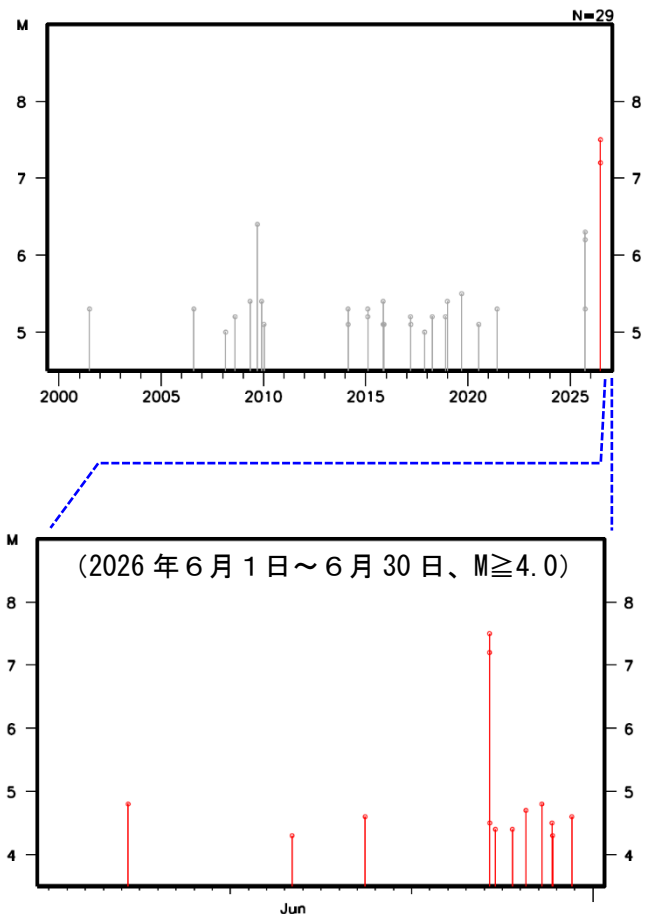


図1-2 領域a内のM-T図



(注1) 震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12.0(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2026年7月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる(2026年7月1日現在)。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2026年7月1日現在)。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2026年7月7日現在)、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向の位置はBird(2003)\*1より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries. *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027. doi:10.1029/2001GC000252.

## (2) 発震機構 (注2)

今回の地震の震央付近 (領域b) の発震機構の分布をみると、横ずれ断層型の地震が多く発生している (図2)。今回の地震② (Mw7.5) の発震機構 (Global CMT による CMT 解) は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

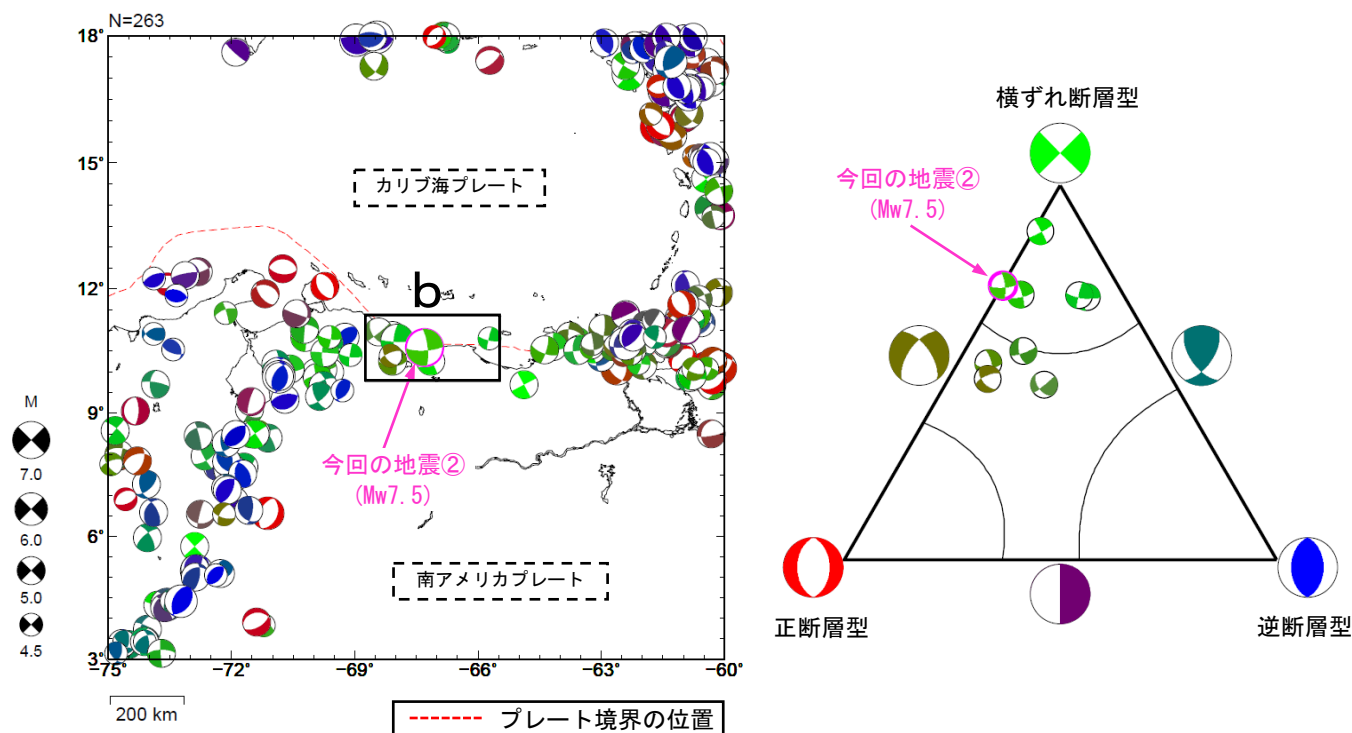


図2 発震機構分布図 (左)、領域b内の発震機構の型の分布 (右)

(1976年1月1日~2026年6月30日、深さ0~100km、 $M \geq 4.5$ )

逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示 (Frohlich (2001)による分類)。

ピンク色の丸囲みで表示している地震は今回の地震② (Mw7.5)

(注2) 震源要素及び発震機構は、Global CMT による (2026年7月1日現在)。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird (2003) \*1より引用。

\*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

### (3) 過去に発生した主な地震 (注3)

1904 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 c）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。1950 年 8 月 4 日には M6.4 の地震が発生し、死者 100 人などの被害が生じた。また、1967 年 7 月 30 日には M6.6 の地震が発生し、死者 240 人、負傷者 1536 人などの被害が生じた。

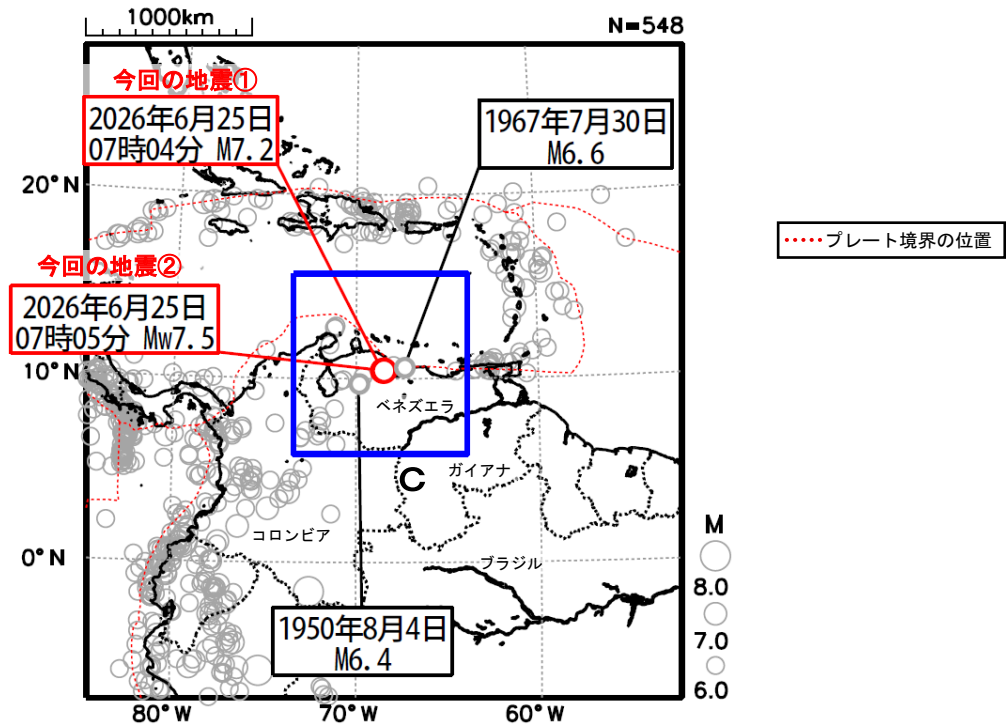


図 3 - 1 震央分布図（1904 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日、深さ 0 ～200km、 $M \geq 6.0$ ）  
2026 年 6 月の地震を赤く表示。

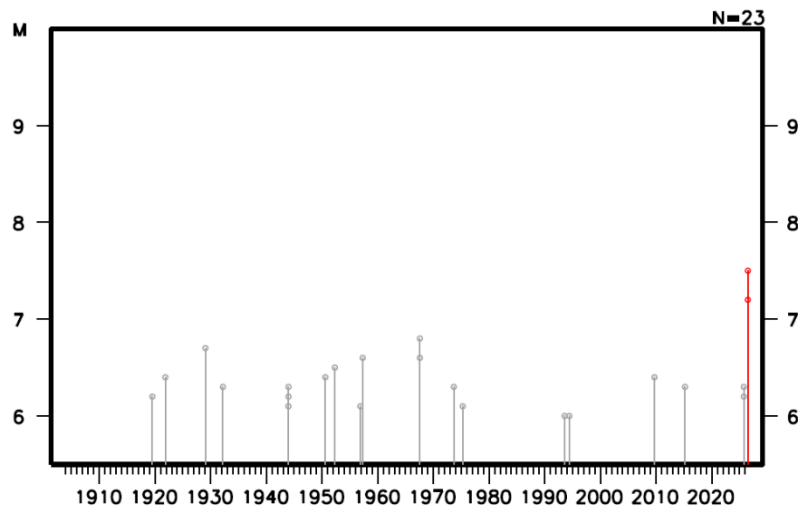


図 3 - 2 図 3 - 1 の領域 c 内の M-T 図

(注3) 震源要素は、2021 年までは ISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022 年以降は米国地質調査所 (USGS) による(2026 年 7 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の Mw は Global CMT による。地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird(2003)<sup>\*1</sup>より引用。

<sup>\*1</sup>参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.